CFR－350 取扱説明書

―― フトンリフレッシャー ――

コイン仕様

ご使用の前に必ず取扱説明書を読んで、
正しく作業して下さい。
お読みになった後は必ず保存して下さい。

TOSEI 東静電気株式会社

まえがき

このたびはフトンリフレッシャー「ＣＦＲ－３５０」をお求め下さいまして、誠にありがとうございました。
このフトンリフレッシャーは、数々の特徴をもち、あなたの期待に十分こたえ、お店の繁栄をもたらすものと確信いたします。
このフトンリフレッシャーをご使用になる前にぜひこの「取扱説明書」をご一読下さい。
正しく取扱っていただければ、機械は常にスムーズに働き、すぐれた性能をいつまでも発揮し、ご満足いただけるものと確信いたしております。
本機ご使用の際は、日常の点検はもちろんのこと取扱注意事項を十分守って事故の起きない様注意してご使用下さい。

●お読みになった後は所定の場所に、大切に保存して下さい。

取　扱　説　明　書

目　　次

1．安全上のご注意 …… 2
　1－1　　危険 …… 3
　1－2　　警告 …… 4
　1－3　　注意 …… 5
2．仕　様 …… 6
　2－1ＣＦＲ～３５０仕様 …… 6
　2－2運搬・搬入 …… 7
　2－3機械の据付 …… 7
　2－4電気工事について …… 9
　2－5スチーム配管工事について …… 10
　2－6排気ダクト工事 …… 11
　2－7エアーの供給について …… 11
3．作業開始の前に …… 11
4．取扱上の注意 …… 11
5．機械の働き …… 12
　5－1原理・構造 …… 12
　5－2運転工程 …… 12
6．使用方法（お客様用） …… 13
　6－1表示部・操作部の説明 …… 13
　6－2お客様の使用方法 …… 15
　6－3トラブル表示 …… 16
　6－4非常停止ボタンについて …… 16
7．使用方法（オーナー用） …… 17
　7－1オペレーションパネルを開ける …… 17
　7－2操作盤について …… 17
　7－3各スイッチの説明 …… 18
　7－4トラブル表示 …… 19
　7－5コース別料金の設定方法（コース1） …… 20
　7－6コインの回収・点検 …… 21
　7－7設定時間の変更方法 …… 22
　7－8設定温度の変更方法 …… 23
8．標準プログラムの設定内容 …… 24
9．点検・整備 …… 24
　9－1日常点検 …… 24
　9－21ケ月点検 …… 25

1．安全上のご注意　　安全にお使いいただくために－必ずお守りください

●この取扱説明書「安全上のご注意」に書かれている内容は、お客様が購入された製品の仕様には含まれない項目も記載されています。

お買上げいただいた、製品（本機）および取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視し、誤った取り扱いをして危険を回避できなかった場合死亡、重傷、焼損を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

1－1

⚠ 危　険

◆ 本機の周辺では火気厳禁です。
本機の周辺にはボイラー、ストーブ、電熱器などの火気機器を絶対に置かないで下さい。
又、本機の周辺ではタバコを吸ったり、火気を絶対に取り扱わないようにして下さい。

◆ 定格以上の負荷量を入れないで下さい。

◆ 運転中は危険ですので、回転部に手や身体を入れないで下さい。
巻込み等けがの原因となります。

◆ 布団の出し入れは、必ずドラムが停止してから行って下さい。ドラムが回転中に絶対にドアーを開いたり、手を入れたりしないで下さい。

◆ 本機の後カバーを外したままで絶対に運転しないで下さい。
「回転」している部分に触れたり巻込まれたりして、ケガをする原因となります。

◆ ポリプロピレン系の布団は、自然発火することがありますので、乾燥しないで下さい。

◆ 乾燥した布団は、速やかにドラムより取り出して下さい。
取り出した布団は、熱いまま積んでおかないで下さい、発火の恐れがあります。

◆ 運転中は、ドアーの開閉はしないで下さい。

◆ 何か緊急に機械を止めなければならない時は、機械の非常停止ボタンを押して下さい。

1－2

⚠ 警　　告

◆ 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対おやめ下さい。

◆ 万一、本機の内部又は電装部等に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

◆ お客様ご自身で本機を修理・改造はしないで下さい。
火災・感電の原因となりますので、絶対におやめ下さい。修理に関するご相談は、別紙「取扱説明書」をご覧になり、販売店に修理をご依頼ください。
又、警告ラベルの取り外し、破損、改変はしないで下さい。

◆ ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に設置しないで下さい。
機械が振動し故障の原因となります。

◆ 本機の上に毛布、シーツ等の品物及び容器類、金属類を置かないで下さい。
火災や故障の原因となります。

◆ 本機上部のスイッチボックス蓋を外す時は必ず元電源を切って下さい。
感電の恐れがあります。
内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼下さい。

◆ 落雷の恐れのあるときは、三相２００Ｖの漏電遮断器の電源を切って下さい。
制御部、インバータが破損する恐れがあります。

◆ 本機熱源（スチームヒーター）部及び配管には、手で直接触れないで下さい。
やけどの恐れがあります。

◆ 本機械は布団類を乾燥・殺菌する機械ですので、それ以外の目的で使用しないで下さい。

◆ 部屋の換気を充分に行って下さい。

◆ トラブル解除の繰り返し運転はしない。
トラブル発生時はトラブルの原因を調べ、処置してから再スタートして下さい。
トラブルの原因を処置しないまま運転すると機械がより危険な状態を招く恐れがあります。

◆ ドラム回転中、ドラム内光源を直視しないで下さい。
直視しますと殺菌光源ですので目に支障を来す場合があります。

1－3

⚠ 注　意

◆ 購入後、年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。
本機の内部に、ほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となる事があります。掃除は、特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

◆ 機械の操作は、「取扱説明書」を十分熟読し、理解した上で運転して下さい。
不慣れな者が運転する場合は、必ず熟練者立会いの上、運転させてください。

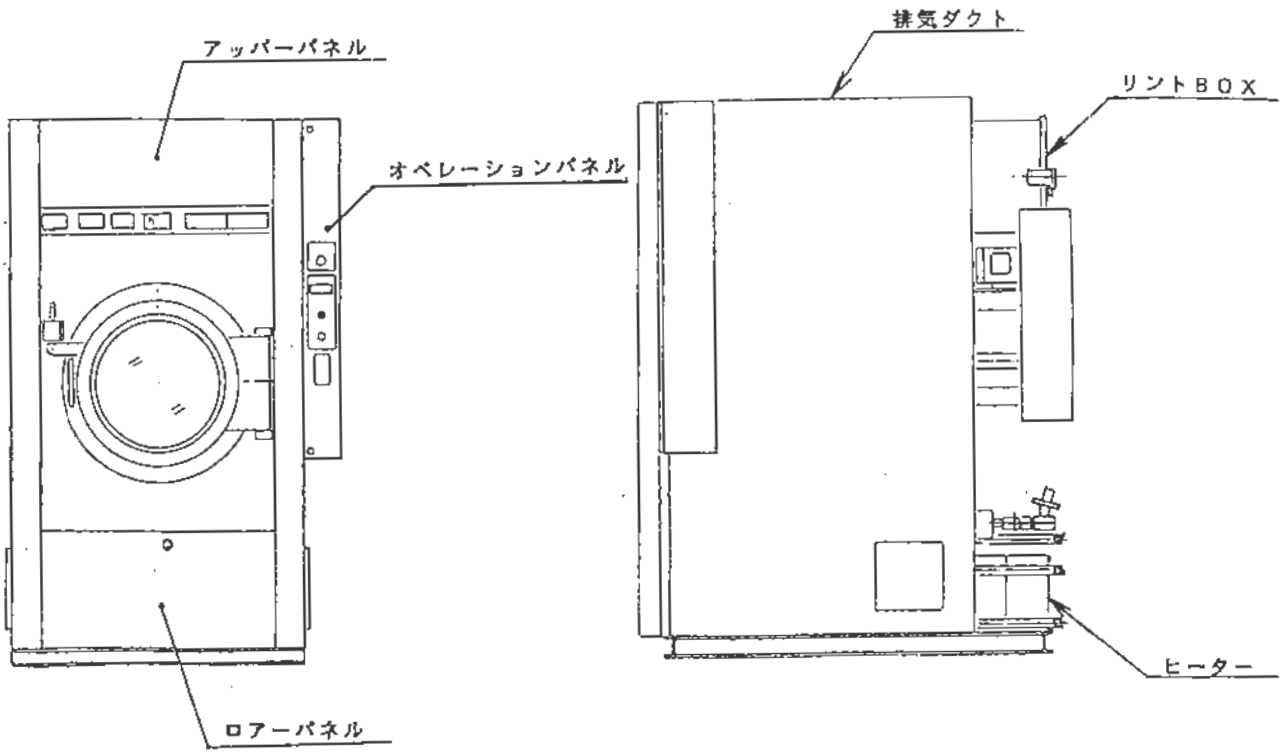
◆ 内胴出口温度, 及び内胴入口温度の関係を常に監視し、所定の温度を確保して下さい。

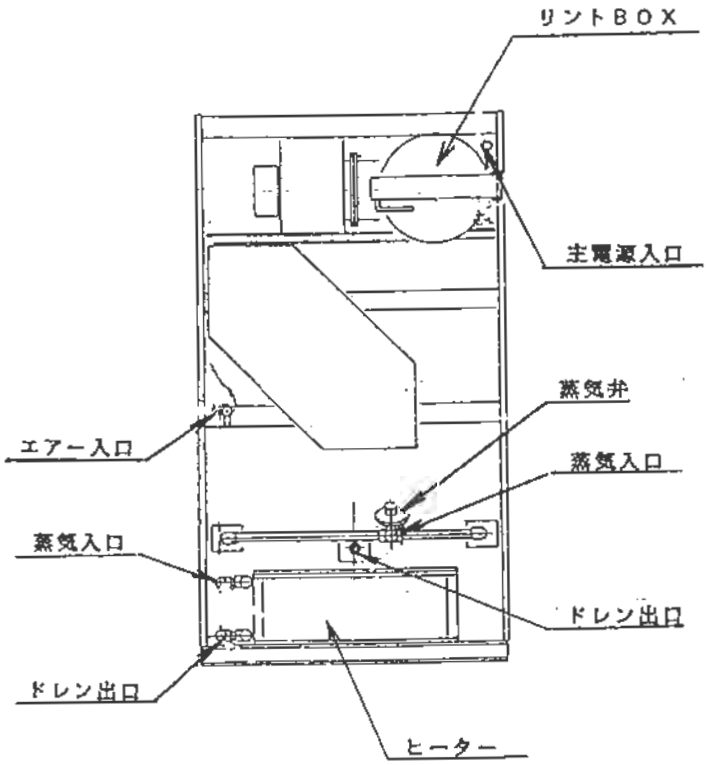
◆ 循環及び給排気系統を定期的に掃除して下さい。

◆ 機械の接地（第３種接地工事）が完全に行われていることを確認して下さい。

2. 仕様

2-1 CFR-350 仕様





No.	項目		CFR-350
1	電源		AC200V 3相 50/60Hz 00V
2	負荷量		35
3	ドラム寸法(mm)	直径	1100
		長さ	850
4	電動機容量(KW)	駆動	1.5
		ファン	1.5
5	ドラム回転数(rpm)	乾燥	50
		復元	33
6	ファン回転(Hz)	スチーム噴射	30
		乾燥/復元	60
7	制御方式		シーケンサー
8	使用蒸気圧力(MPa)		0.55～0.7
9	最高使用圧力(Mpa)		0.7
10	蒸気配管口径	入口	25
		出口	15
11	蒸気消費量(kg/h)		300
12	エアー配管口径(A)		8
13	使用エアー圧力(MPa)		0.5
14	排気ダクト口径		250
15	使用周囲温度(℃,%)		5～35 75

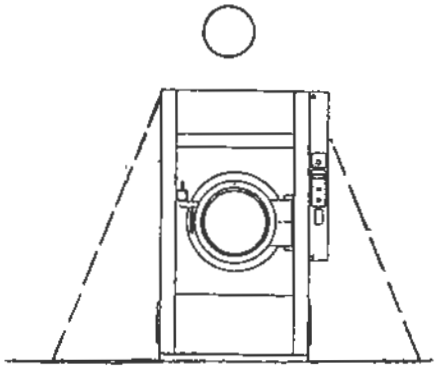
2-2　運搬・搬入

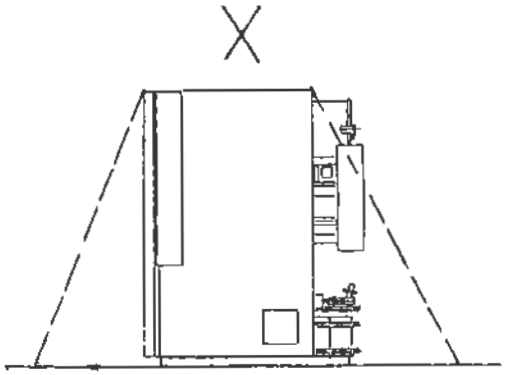
(1) 機械の運搬・搬入に際しては、極度の衝撃を与えたり機械の外装部に損傷を与えないように取扱って下さい。

(2) 機械の運搬・搬入に際しては、降雨の場合には、必ず本体にビニールシート類を掛けて雨水が多少なりとも機械内（特に制御ボックスの中）に入らないように注意して下さい。

(3) クレーン等で機械を吊り揚げる場合には、　機械上部の吊り揚げフックに掛けて吊って下さい。

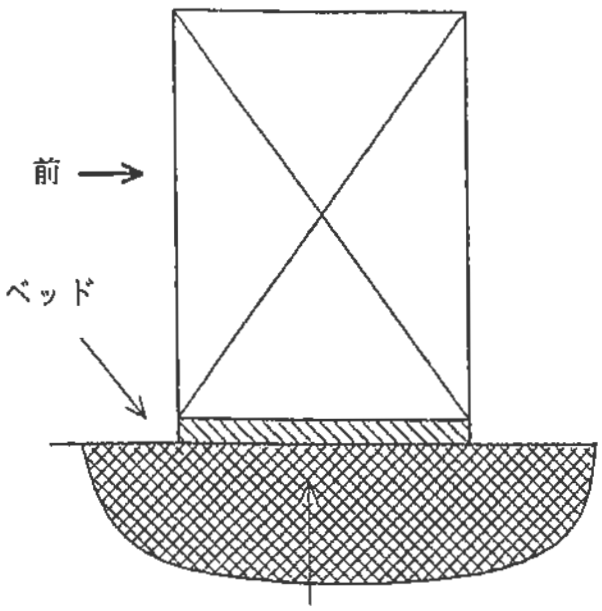
(4) 輸送する際、ロープ掛けして本体が傷まないように、ロープの締め過ぎに十分注意して下さい。また、ロープは左右から掛けて下さい。（前後に掛けないで下さい。）





2-3　機械の据付

(1) 基礎工事



コンクリート

ベットに対してコンクリートが密着している。

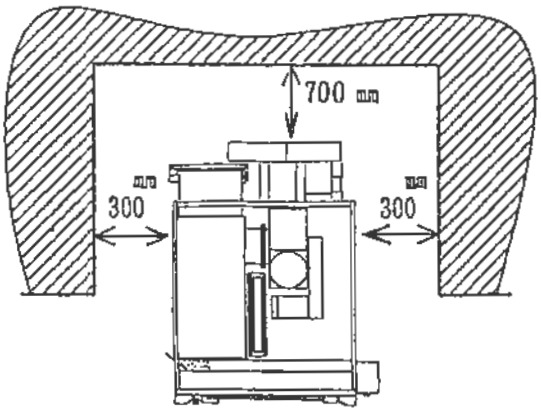
水平レベル

1. 機械の水平レベルを出してアンカーボルト等で固定して下さい。

2. 機械と基礎コンクリートが完全に密着するように工事して下さい。

(2) セッティングスペース

＊　メンテナンス時に最低必要なスペースです。必ず確保して下さい。



2-4 電気工事について

★ 本機はインバータを使用しております、下記電気工事の注意事項に添った施工をして下さい。

★ 配線電気工事は、必ず電気工事士の資格を有する者が行う必要が有ります。
『専門の工事業者へ依頼して下さい』

(1) 電気容量

	定格電流	引込みコード
乾燥機本体	30A	より線3.5mm^2

(2) 接地工事アースは、盤内の接地端子を利用してD種接地工事(接地抵抗100Ω以下)を施行して下さい。

(3) 電源に使用する漏電遮断器(ELB)はインバータ専用(感度電流30～100mA)のものを使用して下さい。

【推奨品　三菱電機…NV-Sシリーズ、　富士電機 …EGシリーズ 】

＊普通の漏電遮断器では、高調波漏洩電流により誤動作して使用不能となります。

(4) 力率改善用コンデンサーは、絶対に取付けないでください。

＊コンデンサーを取付けると、インバータが破壊します。

(5) 電気配線は、出来るだけ金属線管またはフレキシブルコンジェットで保管して下さい。

(6) 電気配線は、蒸気配管に接近させないで下さい。(15cm以上離すこと)

(7) アース

①万一の感電や落雷時における事故防止及び、制御回路の耐ノイズ性を向上させるために必ず本機専用のアースを設けて下さい。

②電源コードは4芯のキャップタイヤケーブルを使用していますが、その内『緑色』の線がアース線です。付属のアース棒をもちて本機単独のD種接地工事をして下さい。

③次の様なところは、アース線を接続しないで下さい。

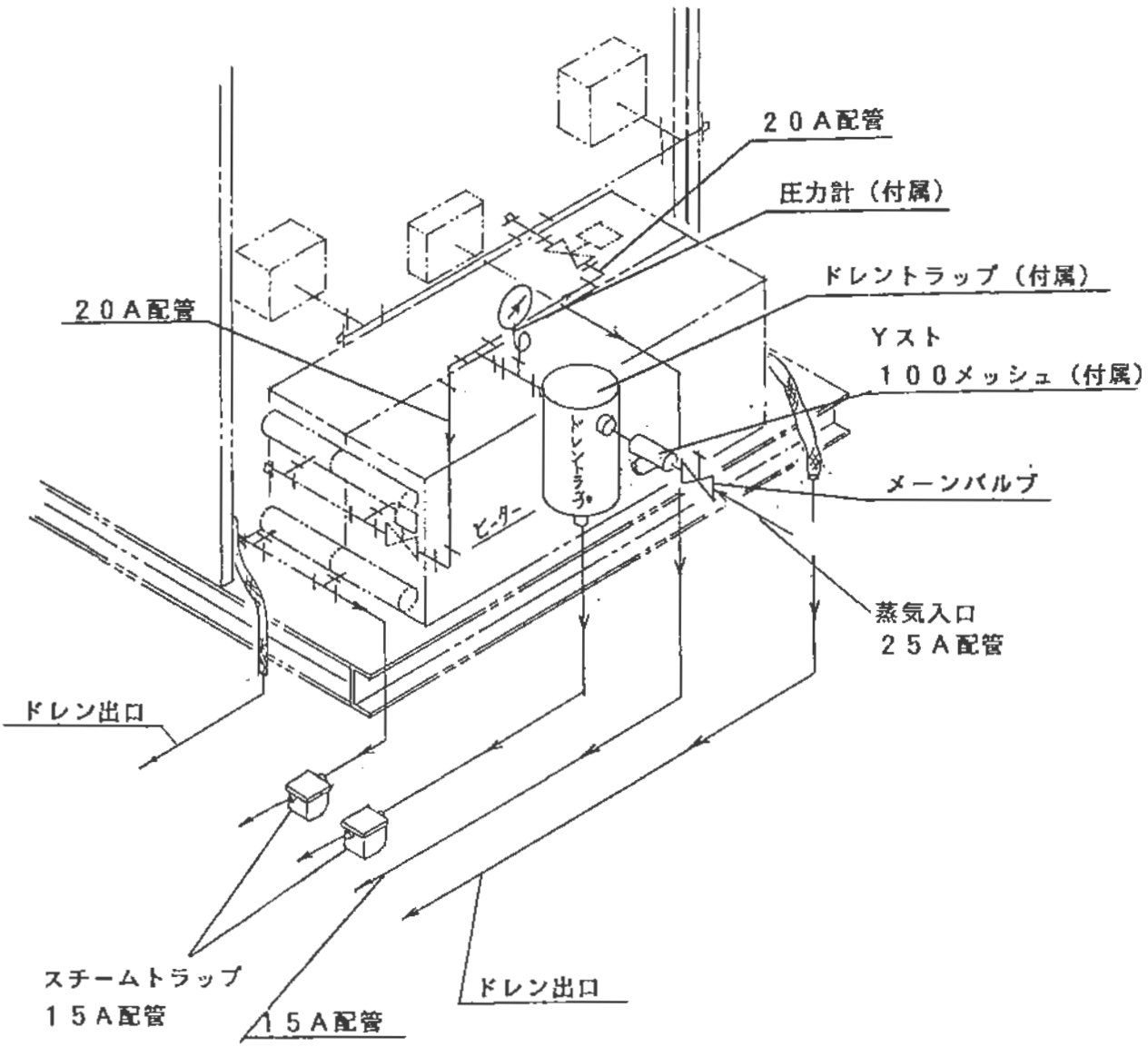
＊水道管…配管途中で塩化ビニール配管の場合アースされません。

＊ガス管…爆発や引火の危険があります。

＊電話線のアースや避雷針…落雷の時、大きな電流が流れて危険です。

2-5 スチーム配管工事について

(1) スチーム配管工事



① スチーム配管工事とメーンバルブの操作について

◆ メーンバルブは電磁弁より1メートル以内に取付けて下さい。

◆ ストレーナーは付属の100メッシュを図のように取付けて下さい。

◆ メーンバルブは必ず全開して操作して下さい。

◆ ストレーナーは1ヶ月に1度点検掃除して下さい。

② 蒸気バルブの取付けと取扱いについて。

◆配管施工時、付属バルブを機械の近くの操作しやすい場所に必ず取付けて下さい。

◆作業開始時バルブを開くときは、急激に開かないで徐々に開いて下さい。

急激に開くと蒸気圧によるハンマー現象でヒーターのパンクの原因になります。

蒸気の元バルブを開き圧力計で圧力確認0.5～0.7MPa(5～7kg/cm^2)

◆ 作業終了後はバルブを必ず締めて下さい。

2-6 排気ダクト工事

(1) 排気ダクト口径は直径250mmで工事して下さい。

(2)排気ダクト長さは横引き3m,縦引き5m以内として下さい。

2-7 エアーの供給について

(1) エアー供給入口の配管は、8Aにて工事して下さい。

(2) エアーレギュレーターによりエアー圧力を0.5MPa(5kg/cm^2)に設定して下さい。

3. 作業開始の前に

1. 電気工事はよいか

① 線の太さ3.5mm^{2}ヒューズ30Aを確認する。

② 本機は、インバーターを使用していますので電源に使用する漏電遮断器はインバーター専用のもので工事を施工して下さい。(感度電流 30～100mA)

③ 力率改善用コンデンサーは、絶対に取付けないでください。
(コンデンサーを取付けると、インバータを破壊します。)

2. アースはよいか。
接地工事はしてあるか。第3種接地工事確認

3. 排気ダクトの取付はよいか

4. 電源の供給はよいか。
電源の元スイッチを入れ表示ランプ点灯確認。

5. 蒸気の供給はよいか。
蒸気の元バルブを開き圧力計で圧力確認 0.5～0.7MPa(5～7kg/cm^2)

6. エアーの供給はよいか。
エアーの元バルブを開きエアーレギュレーターで圧力確認 0.5MPa(5kg/cm^2)

7. リントフィルターの点検
機械後部のリントフィルター確認,ゴミ,ホコリ等掃除

4. 取扱上の注意

1. 本機の近くで、絶対に火気を使用しないでください。

2. 布団は、定格負荷量(敷布団 2枚)以上入れないで下さい。

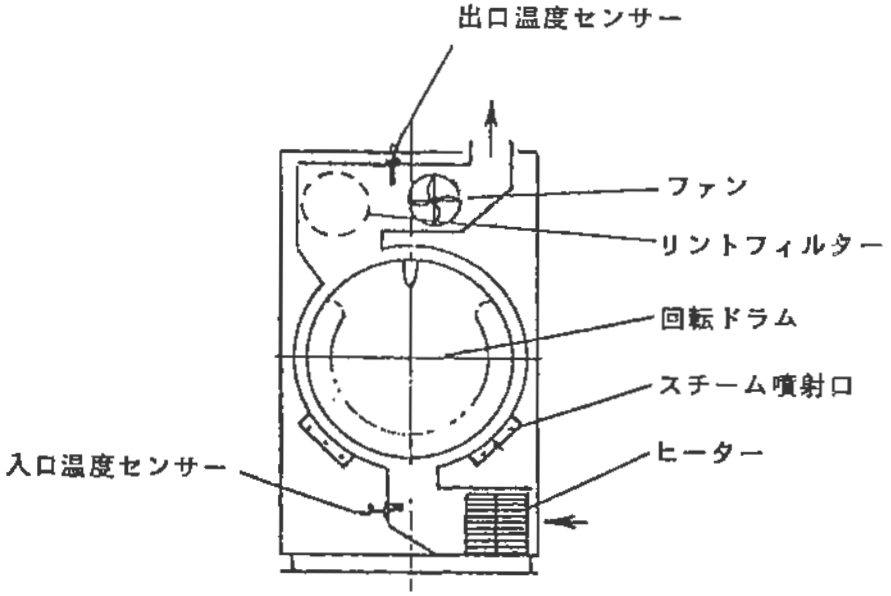
3. ポリプロピレン系の布団は、自然発火することがありますので、乾燥しないで下さい。

4. 乾燥した布団は、速やかにドラム内より取出して下さい。

5. 運転中は、ドアーの開閉はしないで下さい。

5．機械の働き

5－1　原理・構造



ドラムに布団を入れドラム下部２ケ所より高圧の蒸気を噴出させ、布団に付着している「ダニ・一般細菌類・汗・ほこり等」を除去する。
次にドラムを回転させて乾燥・復元を行う。

5－2　運転工程

（1）スチーム工程

ドラムに布団を入れドラム下部２ケ所より高圧の蒸気を噴出させ、布団に付着している「ダニ・一般細菌類・汗・ほこり等」を除去する。

（2）乾燥工程

ドラム内に熱風を送り込み、ドラムを回転させて布団を乾燥させる。
この時、布団がドラムに張り付いたままの回転で乾燥を行う。

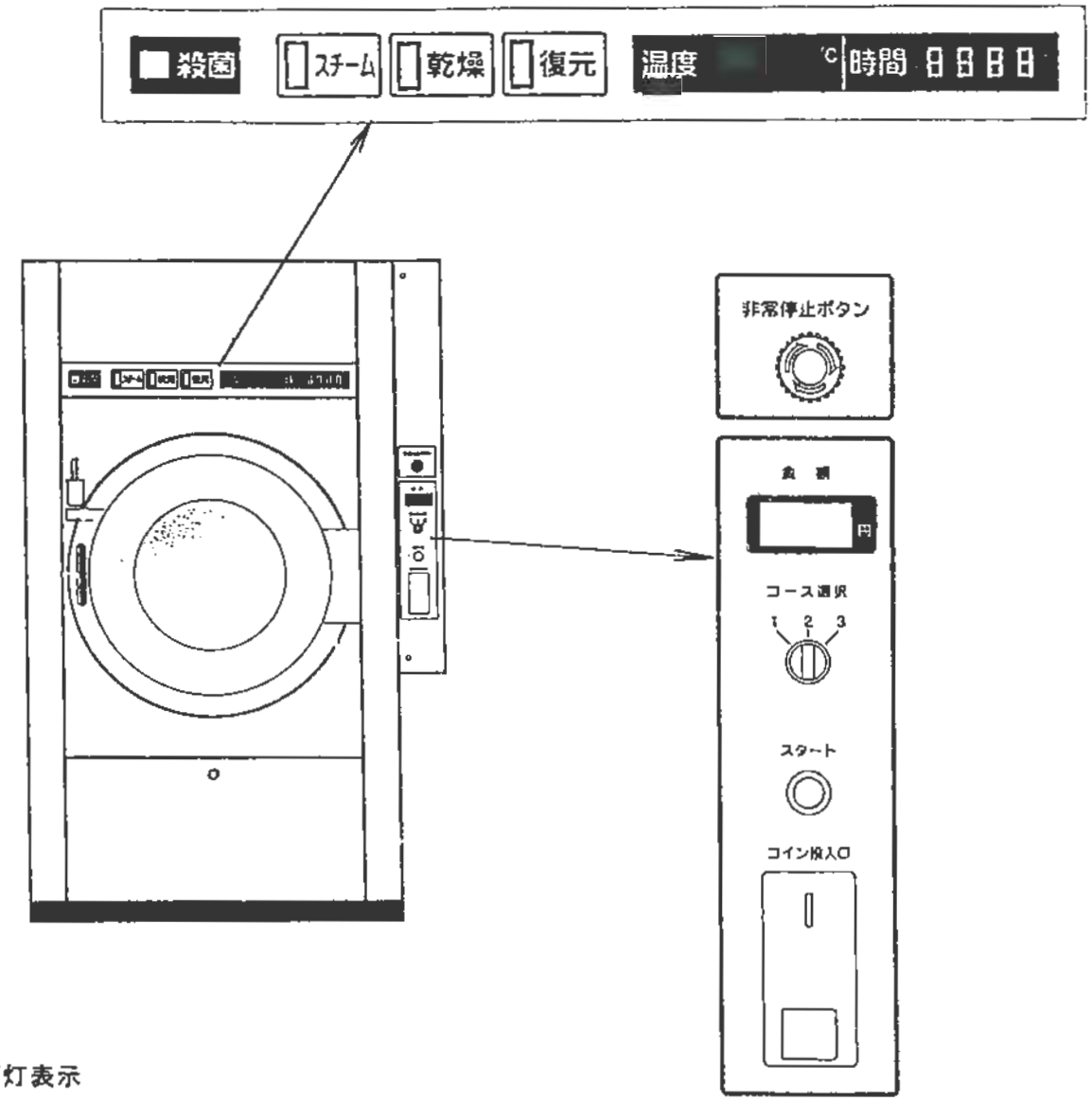
（3）復元工程

この工程は、乾燥工程の仕上げ工程に当たり今までドラムに張り付いて乾燥していた布団をドラムの回転を下げて、たたき効果により復元を行う。

スチーム工程 → 乾燥工程 → 復元工程

6．使用方法（お客様用）

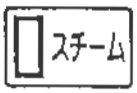
6－1 表示部・操作部の説明



（1）殺菌灯表示

・殺菌灯が点灯している間、表示します。
殺菌灯は、目を痛めますので直接見ないで下さい。

（2）スチーム表示



・スチーム工程時、点灯します。

（3）乾燥表示

・乾燥工程時、点灯します。

（4）復元表示

・復元工程時、点灯します。

（5）非常停止ボタン

・緊急事態が発生した場合、押して下さい。
作動中の機械が、停止します。

（6）金額表示

・使用金額を表示しています。

（7）コース選択スイッチ

・このスイッチで、希望するコースを選択します。

（8）スタートスイッチ

・このスイッチを押すことにより、運転を始めます。

（9）時間表示

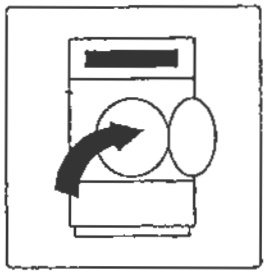
・各コースの合計時間を表示しています。
運転中は、残り時間を表示しています。

（10）温度表示

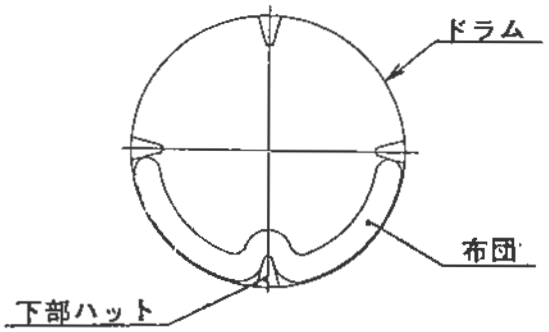
・ドラムの入口温度を表示しています。

6－2 お客様の使用方法

（1）布団を投入する。



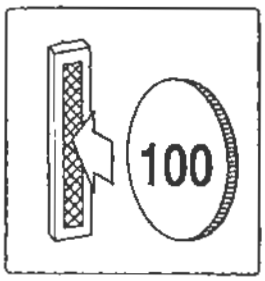
・布団をドラムに入れ、ドアーを閉めて下さい。
（注）布団は、下図の様に下部ハットに左右均等になる様に入れて下さい。



（2）希望のコースをコース選択スイッチで選択し、コインを投入する。

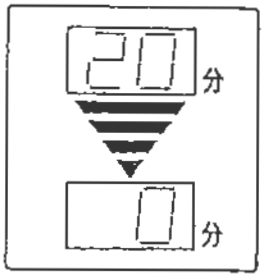
・希望するコースを選択して下さい。

・金額表示に料金が、表示されていますので、表示された料金をコイン投入口より投入して下さい。
（つり銭は出ません。）



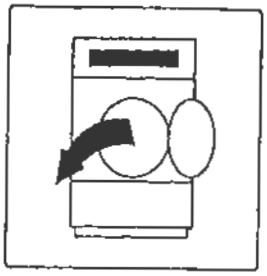
・コインを投入すると、金額が投入金額により減算します。
0円になると「スタート」スイッチのランプが点灯しますので、「スタート」スイッチを押して下さい。
運転が開始されます。

（3）「残り時間」の表示



・「時間」表示に残り時間が、表示されます。
運転中は、絶対にドアーを開けないで下さい。

（4）布団の取り出し



・「時間」表示の数字が「0」になれば、乾燥が終了です。
終了すると、ピーピー音で知らせます。
ピーピー音が鳴り終わりましたらドアーロックが解除されますので、ドアーロックの解除を確認したのちドアーを開けて布団を取り出して下さい。

6－3 トラブル表示

・乾燥中にトラブルが発生した場合には、機械が停止して「ピッ」「ピッ」音が鳴ります。
又「金額」表示にエラー内容の略記号が出ます。

6－4 非常停止ボタンについて

・操作部上部に「非常停止ボタン」スイッチが取り付けてあります。

6－4－1 操作方法

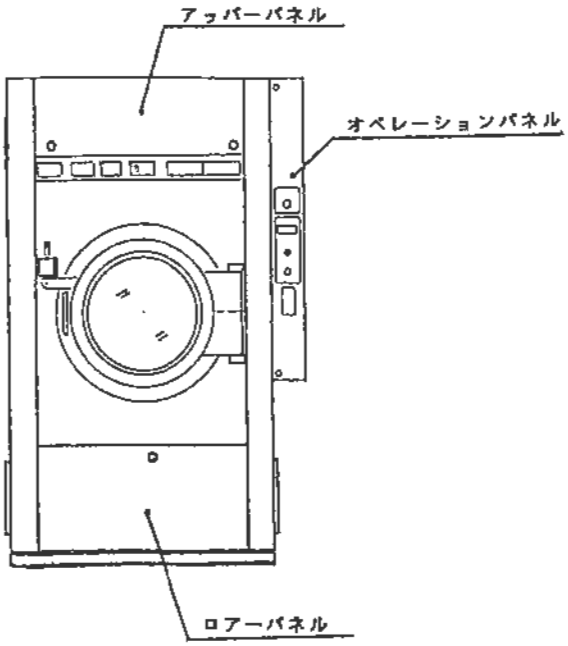
（1）緊急事態が発生した場合、押して下さい。
「非常停止ボタン」が押されますと動作中の機械は非常停止を行います。

（2）非常停止の解除方法は、「非常停止ボタン」を「矢印」方向にねじって下さい。
「非常停止ボタン」自体が飛び出してきます。
機械動作中に「非常停止」された場合、解除した時には全てがクリアーされてしまいますので、再び料金投入から始めて下さい。

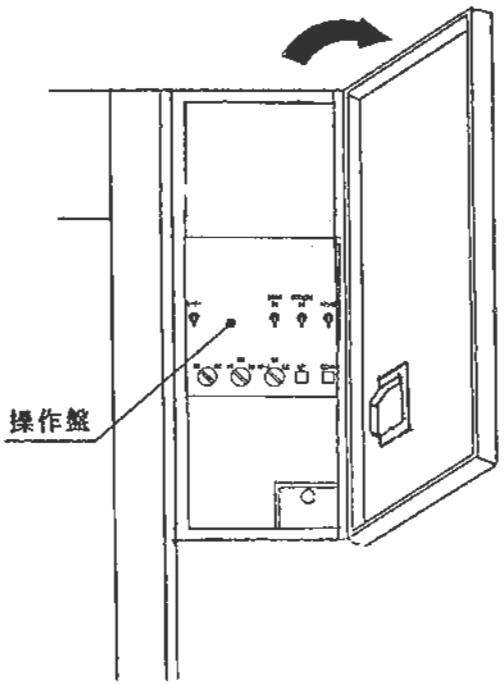
※「非常停止ボタン」スイッチは緊急事態のみの使用で、むやみに使用しないで下さい。使用した場合は、原因を取り除いた上安全を確認してから解除して下さい。

7．使用方法（オーナー用）

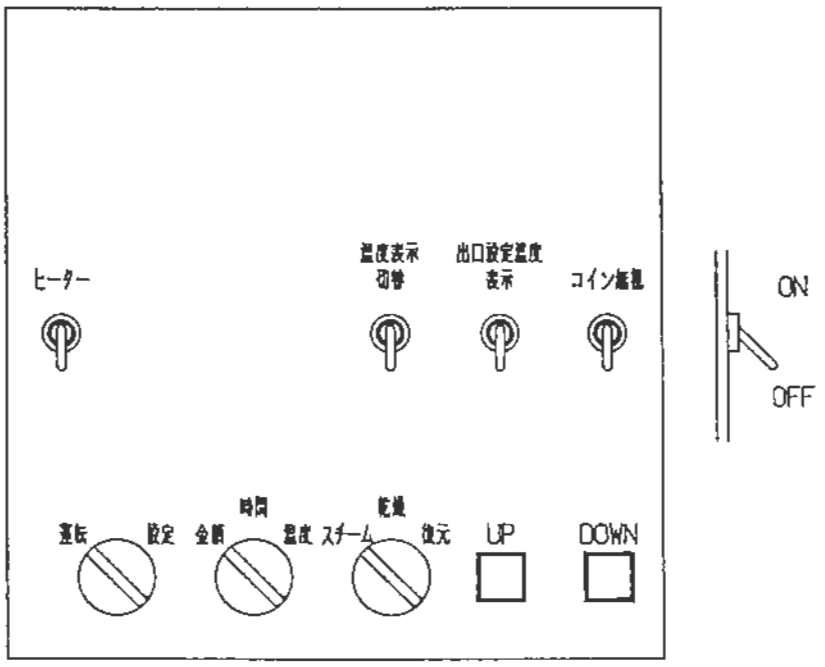
7－1オペレーションパネルを開ける



・付属の鍵にて、オペレーションパネルをけて下さい。
中に操作盤が取り付けてありますので、この操作盤により金額の設定、乾燥のプログラム変更及びコインの回収等を行います。



7－2操作盤について



7－3各スイッチの説明

（1）ヒータースイッチ

・手動でヒーター弁を動作させる場合に使用します。
「ＯＮ」側で手動運転できます。
通常運転時は、「ＯＦＦ」側にて使用して下さい。
（注）「ＯＮ」にして運転させますと温度制御が出来ません。

（2）温度表示切替スイッチ

・温度の表示を、入口又は出口表示に切換えるスイッチです。
「ＯＦＦ」側で入口表示
「ＯＮ」側で出口表示
工場出荷時は、「ＯＦＦ」側に設定されています。

（3）出口設定温度表示スイッチ

・乾燥時の出口側での制御設定温度を表示させるスイッチです。
「ＯＦＦ」側で通常使用して下さい。
「ＯＮ」側で設定温度の表示をします。

（4）コイン無視スイッチ

・コインを入れずに運転する場合、使用します。
「ＯＮ」側にすると、コインを投入しなくてもスタートスイッチを押すことにより運転できます。
通常は、「ＯＦＦ」側で使用して下さい。

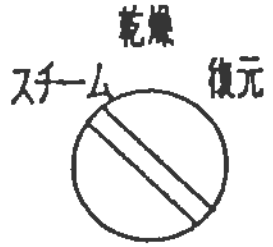
（5）運転・設定切替スイッチ

・機械を運転する場合は「運転」側に、金額・時間・温度を変更する場合は「設定」側にして下さい。

（6）金額・時間・温度切替スイッチ

・設定中に有効なスイッチで、設定内容の切替用スイッチです。

（7）スチーム・乾燥・復元切替スイッチ



・設定中に有効なスイッチで、工程別の時間を変更する時に使用するスイッチです。

（8）UP・DOWNスイッチ

・金額・時間・温度の設定数値を変更するスイツです。
増は「UP」スイッチ、減は「DOWN」スイッチで行って下さい。
（注）「UP」・「DOWN」スイッチ共に時間及び温度変更のみ押し続けると早送り出来ます。

7－4トラブル表示

・トラブル表示は、オペレーションパネルの金額表示部に表示されます。
下記、表を参照して下さい。

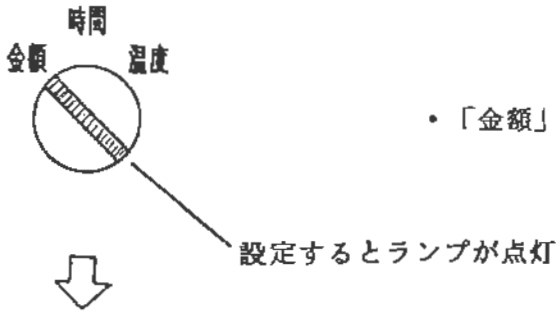
NO	表　示	内　　容	解　除　方　法
1	E 0 0 1	駆動モーター用インバータの異常	元電源を切って再度投入
2	E 0 0 2	ファンモーター用インバータの異常	元電源を切って再度投入
3	E 0 0 3	運転中にドアーを開けた場合	ドアーを閉めて再スタート
4	E 0 0 7	入口温度測定用センサー異常	センサーを確認
5	E 0 1 0	出口温度測定用センサー異常	センサーを確認
6	E 0 0 6	シーケンサ内部の温度調節器の異常	シーケンサ部品の交換
7	E 0 0 8		
8	E 0 0 9		
9	E 0 1 1		

（注）トラブルエラーが出た場合は、原因を取り除いた上安全を確認してから解除して下さい。

７－５コース別料金の設定方法（コース　１）

８００円→１０００円に変更

・運転・設定切替スイッチを「設定」にセットする。



・「金額」にセットする。

・オペレーションパネルにあるコース切替スイッチで
金額を変更するコースにセットする。

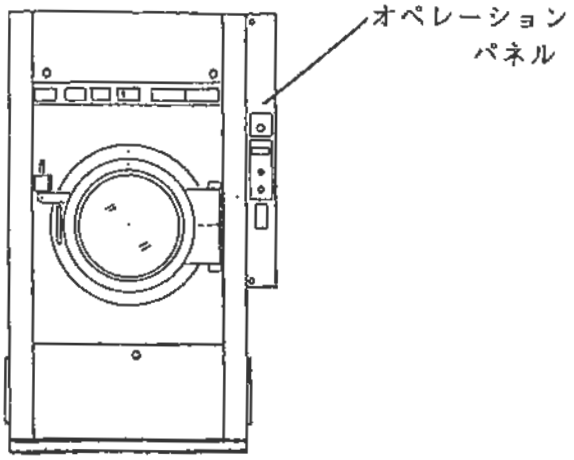
・金額表示に現在の設定金額が表示されます。

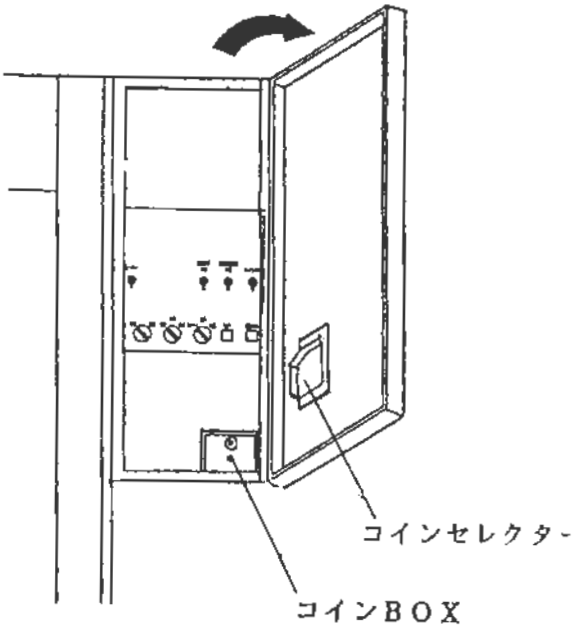
・ＵＰ又はＤＯＷＮスイッチで金額をセットします。
設定範囲　０円～９，９００円までです。
※使用できる硬貨は、１００円と５００円のみです。

・運転・設定切替スイッチを「運転」側にセットする。

7－6 コインの回収・点検

7－6－1 コインの回収について



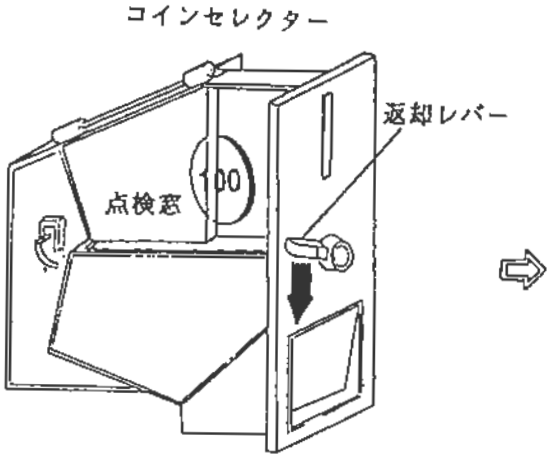


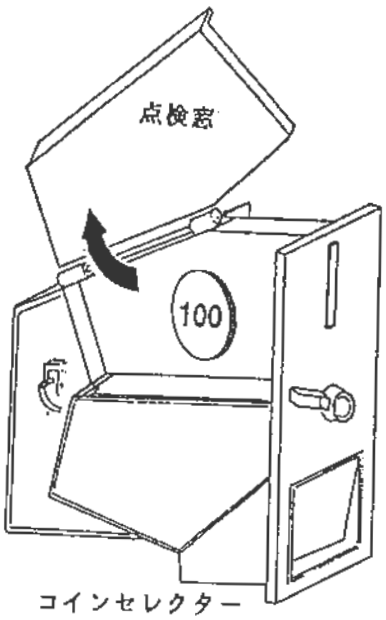
①付属の鍵にて、オペレーションパネルを開けます。
②中にコインＢＯＸがありますので、鍵を開けてコインＢＯＸを手前に引き出して下さい。
③コインＢＯＸ全体が取り出せますので、コインを回収して下さい。

※コインＢＯＸの集金似ついては、使用量によって異なります。
使用量、溜まり具合に合わせて定期的な集金を行って下さい。

7－6－2 コインセレクターの点検

①付属の鍵にて、オペレーションパネルを開けます。
②コインセレクターは、オペレーションパネルに取り付けてあります。
③コインセレクターの返却レバーを下げて左側の点検窓を確認して下さい。





コインセレクターに硬貨づまりを起こした場合は、返却レバーを押し下げると、⇨の方向にカバーが持ち上りますので、手で大きく持ち上げてつまっている硬貨を取り除いて下さい。

7－7 設定時間の変更方法

（コース　1　スチーム工程　1分30秒→1分00秒）

・運転・設定切替スイッチを「設定」にセットする。

・金額・時間・温度切替スイッチを「時間」にセットする。

設定するとランプが点灯

・オペレーションパネルにあるコース選択スイッチで、時間を変更するコースにセットする。（1コース）

・スチーム・乾燥・復元切替スイッチを「スチーム」にセットする。
スチーム工程ランプが点灯し、時間表示に現在の設定時間が表示されます。

※乾燥及び復元時間を変更する時には、この切替スイッチを変更を希望する工程にセットします。

・UP又はDOWNスイッチで時間をセットします。
※押し続けると早送りになります。

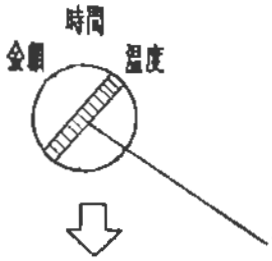
各工程の変更範囲
- スチーム工程　0～20分
- 乾燥工程　0～59分59秒
- 復元工程　0～20分

・運転・設定切替スイッチを「運転」側にセットする。

7－8設定温度の変更方法

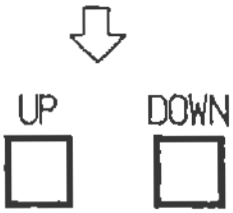
（コース　1　65℃→60℃）

・運転・設定切替スイッチを「設定」にセットする。



・金額・時間・温度切替スイッチを「温度」にセットする。

・オペレーションパネルにあるコース選択スイッチで、温度を変更するコースにセットする。（1コース）



・ＵＰ又はＤＯＷＮスイッチで温度をセットします。

※押し続けると早送りになります。

温度変更範囲

・1，2，3コース共に0～99℃

※乾燥・復元工程共に同じ温度に設定されます。

・運転・設定切替スイッチを「運転」側にセットする。

8. 標準プログム

工　　程		1コース	2コース	3コース
スチーム	時 間(秒)	90	90	90
	ファン(Hz)	30	30	30
乾燥温度(℃)	時 間(分)	6	7	8
	ファン(Hz)	60	60	60
	回転(Hz)	8	8	8
復　元	時 間(分)	8	7	7
	ファン(Hz)	60	60	70
	回転(Hz)	5.5	5.5	5.5
乾燥温度(℃)		65	65	65
設定金額(円)		800	1,000	1,200

9. 点検・整備

9-1 日常点検

1. 機械各部の動きは正常ですか

   電磁弁、スチームボックス等が正常に動作しているか確認して下さい。

2. コンプレッサーのエアー圧力は正常ですか。　0.5MPa(5kg/cm^2)

   エアーの圧力が低下しますと、スチームボックス等が正常に作動しなくなりますので、十分注意して下さい。

3. リントフィルターは、毎日一回必ず掃除をして下さい。

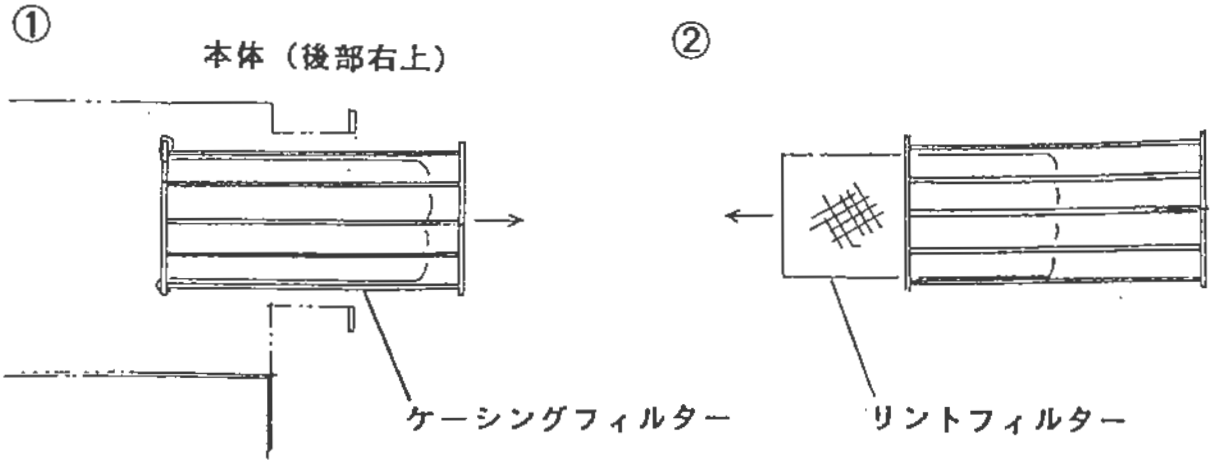
   リントフィルターが目詰まりしますと、風量が低下し、乾燥が悪くなります。

   リントフィルター掃除方法

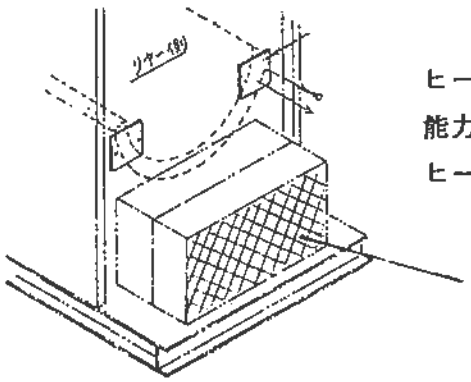
   ① ケーシングフィルターを本体から取外します。

   ② リントフィルターをケーシングフィルターから取り外します。

   ③ リントフィルター内のリント等を取り除き、袋全体を掃除して下さい。



4．ヒーターストレーナーの掃除をして下さい。



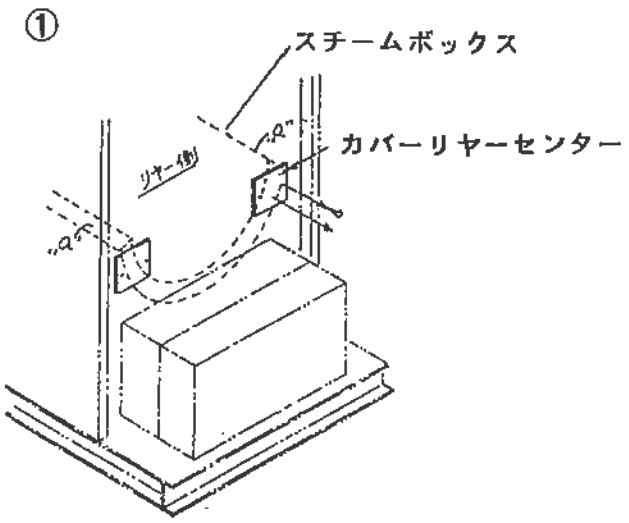
ヒーター入口のストレーナーにホコリが溜まりますとヒーターの能力が低下し、乾燥効果を低下させます。
ヒーターストレーナーは毎週掃除して下さい。

5．乾燥温度設定が正しくセットされていますか。
正しい温度にセットされていないと、乾燥不良や被洗物の縮み事故に繋がります。
特に、アクリル等の化学繊維の乾燥には十分注意して下さい。

9－2　1ケ月毎点検

1．蒸気ストレーナーの掃除をして下さい。
蒸気用ストレーナーにゴミが詰まりますと、乾燥温度が上がらなくなり、乾燥不良になります。

2．温度センサー等の検知部の掃除をして下さい。
温度センサー等の検知部にゴミ等がつきますと、温度不良の原因になりますので点検して下さい。

3．排気ダクトの掃除をして下さい。。
排気ダクトがつまりますと排気不良となり、乾燥不良の原因になりますので点検して下さい。

4．スチームボックスを掃除してください。
①ネジ及びカバーリヤーセンターを外し、「a」印部を引っ掻き棒等で仕切部へリント、ホコリ等を落として下さい。
②インサイドカバーのネジ（2ケ所）をはずし、下降後、仕切板上面を引っ掻き棒等で掃除して下さい